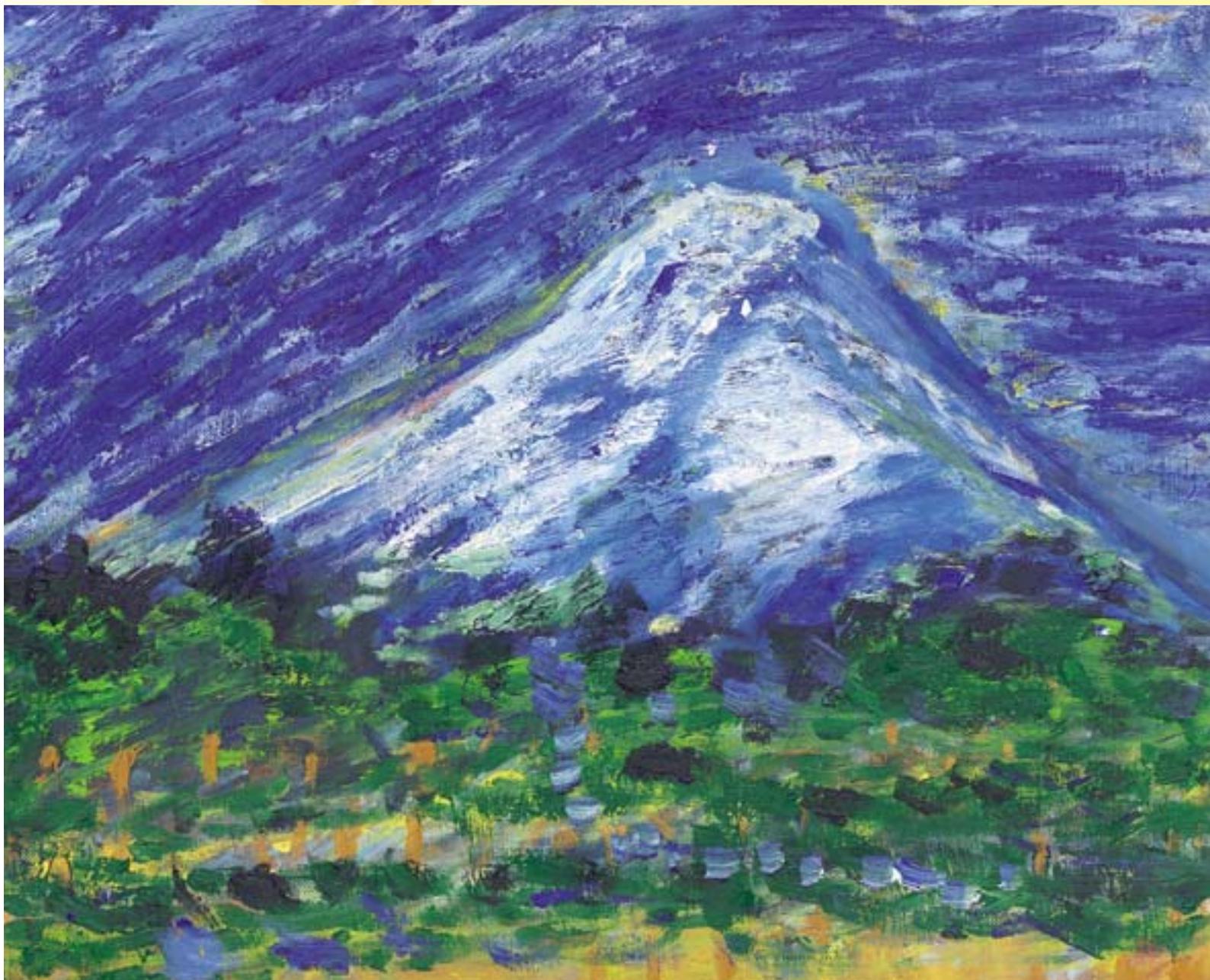


かさぐるま

創立40周年

ひと、豊かなハーモニー

平成16年7月1日



絵：奥山 繁雄さん

- 特集 -平成16年度山形県社会福祉事業団の事業の概要-
- 施設機能を活かしたネットワーク支援
- 「ジョブサポートぱる」オープン
- 2004セミナー等の開催情報
- 特別寄稿

No. 74

社会福祉法人 山形県社会福祉事業団
<http://www.ysj.or.jp>
メール:yamagata@ysj.or.jp



信頼される経営とサービス提供をめざします

—平成16年度 山形県社会福祉事業団の事業の概要—



事業団を取り巻く状況と経営課題

平成15年9月2日に施行された「地方自治法の一部を改正する法律」により、公の施設の管理について経費コストの削減とサービスの向上を目的として、指定管理者制度が導入されることになりました。現在受託している県立社会福祉施設は、3年以内に委託から指定管理者制度に移行することになります。このことは、事業団にとって急激な経営環境の変化をもたらすことになります。

また、その一方で国の新障害者基本計画や第三次山形県障害者計画（新輝きの福祉プラン）といった福祉施策に基づき、利用者の自立支援と地域生活移行の推進が福祉サービスの方向性となって表れてきています。

すなわちこれまでとは全く違った大胆なコストの削減と、地域生活を見据えた積極的な支援という新たなサービス提供が、事業団に求められてきているのです。

平成16年度は、指定管理者制度への円滑な移行と利用者一人ひとりの夢の実現を目指して、最大の経営改革に取り組むことになります。

今まさに事業団の真価が問われる時を迎えています。

基本方針

- ①指定管理者制度を視野に置いた経営改革の推進
- ②利用者主体の施設運営と利用者の権利擁護及び質の高いサービスの提供
- ③在宅・地域福祉の推進と圏域におけるネットワーク機能の推進
- ④専門的・先駆的・広域的事業の推進による県民福祉の向上
- ⑤職員の資質向上と職場の活性化

重点事業

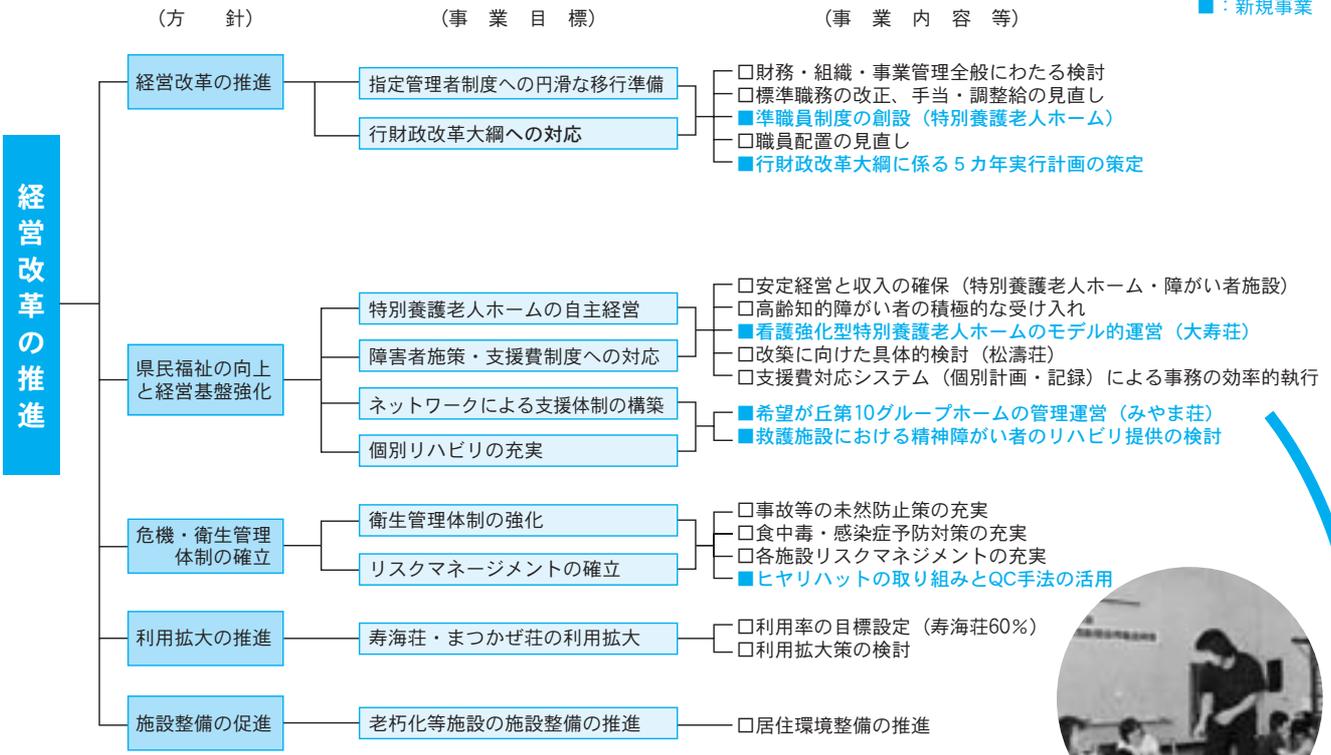
- ①指定管理者制度の適用に向けての経営改革の実施
- ②希望が丘入所者の地域生活移行計画の策定
- ③特別養護老人ホームの経営基盤の強化
- ④在宅サービス機能の拡充及び在宅障がい者の相談支援体制の充実

〇ここがポイント

事業団で開始した「リスクマネジメント」の取組みは、ハインリッヒの法則（1つの事故が発生するためには、29もの軽微な事故があり、その軽微な事故のもとには300もの異変や異常があるとする考え方）を基本に、ヒヤリ・ハット報告書の活用を組織的に実施し、事故防止体制を確立していくもので、その過程においてQC手法（データに基づく現状把握や原因追究、対応策を考えていく手法）を活用して事故防止に努めることにしています。

I 経営改革の推進 ～指定管理者制度による指定を見据えて～

■：新規事業



－レクリエーションの理論と実技－
新規採用職員・準職員研修

施設機能を活かしたネットワーク支援

希望が丘（川西町）第10グループホームをみやま荘（河北町）でバックアップ

「故郷で暮らしたいを実現」

川西町にある総合コロニー希望が丘では、利用者の方の地域生活移行への取り組みとしてこれまでバックアップ施設がある川西町に9カ所のグループホームを開設してきました。しかし利用者の方の大半の方は故郷を離れ施設で生活をしています。そこで「家族の近くで、故郷で暮らしたい」「暮らしたい場所で暮す」というあたり前の望みを実現するために、10カ所目のグループホームは河北町に開設することにし、河北町にある救護施設「みやま荘」がバックアップ施設となって支援を行うことにしました。食事や日中活動、緊急事態の対応等生活全般に渡り、「みやま荘」が支援にあたっています。今後も県内各圏域ごとの事業団施設の機能を活用し、利用者の方の望みを実現できるような事業の展開を進めていきたいと思っています。

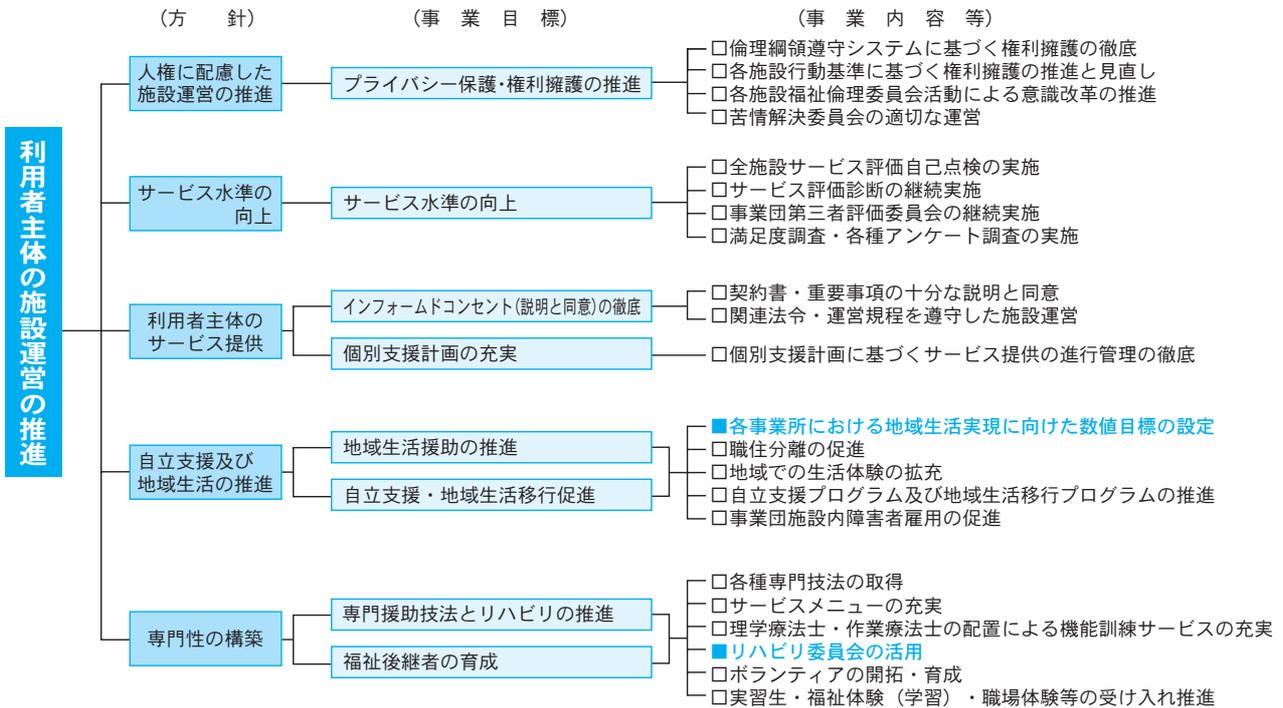


夕ごはんがとどきましたよ

〇ここがポイント

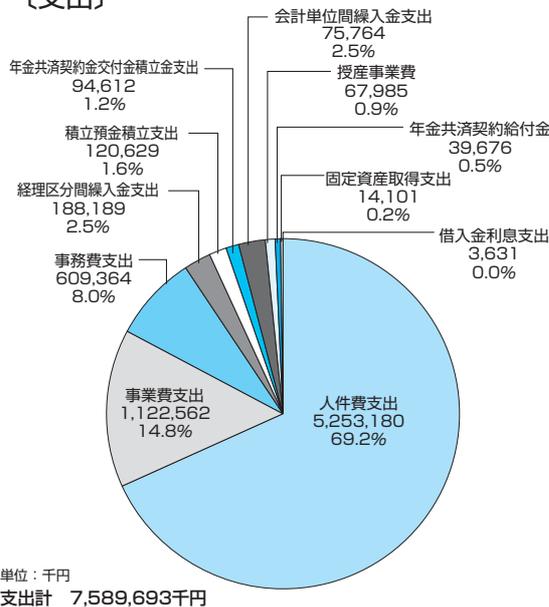
事業団では、リハビリテーションサービスを推進するため、今年度新たにリハビリ委員会を設置しました。機能回復訓練はもちろん、生活づくりとしてのリハビリ、疾病予防に向けた健康管理、さらに介護予防や転倒予防のための健康運動の推進などを、各施設の基本サービスとして提供していくことを目的としています。組織的な取り組みを行なうため、有資格者を中心とした理学療法・作業療法部会と健康運動部会、そして各事業所の担当者からなるリハビリテーション推進会議が組織化されています。

Ⅱ 利用者主体の施設運営の推進 ～利用者が主人公の施設づくりをめざして～

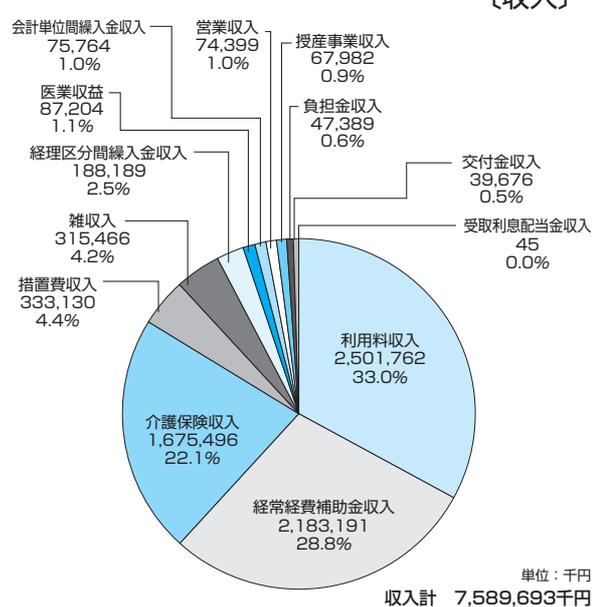


平成16年度当初予算総括

〔支出〕



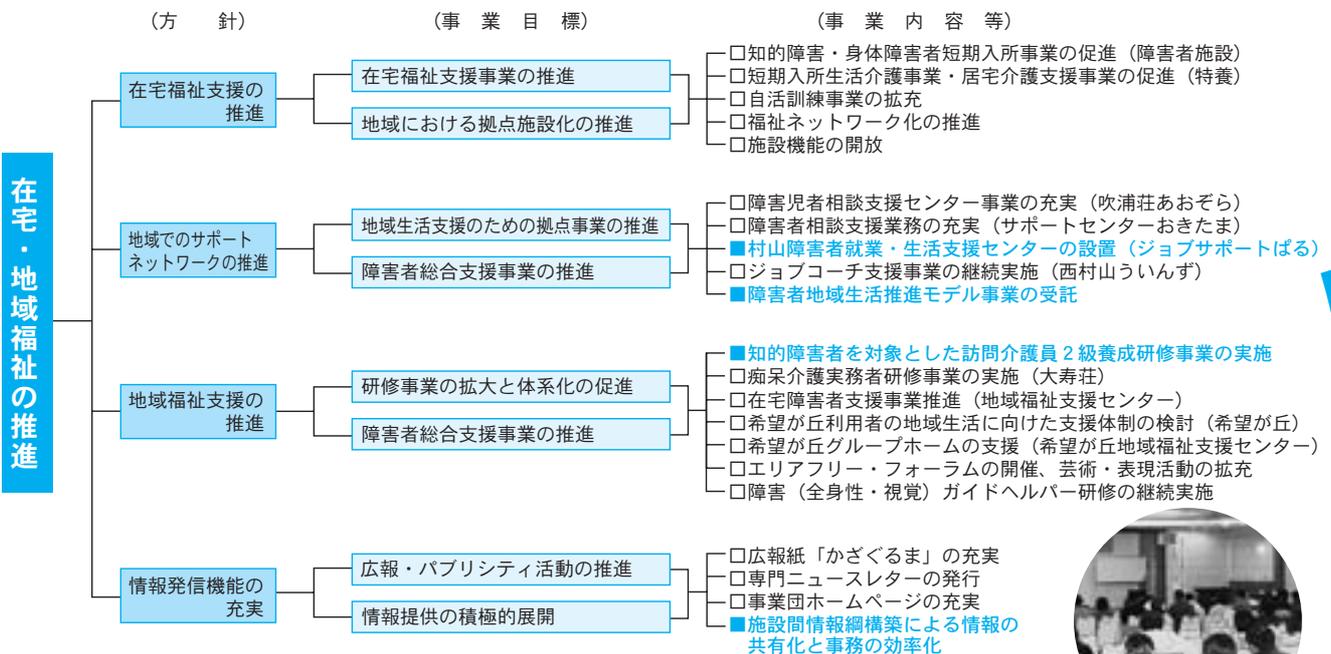
〔収入〕



〇ここがポイント

事業団では、様々な福祉ニーズに応えるため、研修事業を受託しています。痴呆介護実務者研修や障害者（全身性・視覚）ガイドヘルパー養成研修の他に、今年度は離転職者職業訓練事業と痴呆性グループホーム開設予定者研修事業を行ないます。前者は、ハローワークを通して推薦のあった知的障がい者6名の方に対し、訪問介護員養成研修（ホームヘルパー2級）を行なうもので、1回300時間（3カ月）を2回実施する予定です。後者は、国の新規事業で痴呆性老人のグループホームの開設予定者である理事長や代表取締役を対象にグループホームケアの理念を理解するための研修となっています。（4日間の研修を2回実施：対象20名）

Ⅲ 在宅・地域福祉の推進 ～地域における拠点施設をめざして～



エリアフリー・フォーラム2003

「ジョブサポートばる」オープン

—村山地区で障害者就業・生活支援事業がスタートしました—

平成16年4月、山形市に村山障害者就業・生活支援センターが開設され、事業開始となりました。

障害者就業・生活支援センターは「サポートセンターおきたま」に続き県内では2カ所目の設置となります。村山圏域（7市7町）を中心に、障がいのある方やそのご家族からの就職や生活に関する相談、事業主の方からの職場定着に関する相談などに対し、関係機関との連携を図りながら支援を行う事業所です。

7月1日、緑町会館にて関係機関の方々16名をお招きして開所式が行われました。出席いただいた皆さまからあたたかな言葉をいただき、スタッフの中でも気持ちをひとつにして支援にあたることを確認し合ったところです。

なお、愛称を募った結果、『ジョブサポートばる』という名前に決定しました。「ばる」は「仲間・友人」という意味を持ち、ご相談いただく皆さんと共に色々なことを感じ合いながら、支援していきたいと思えます。

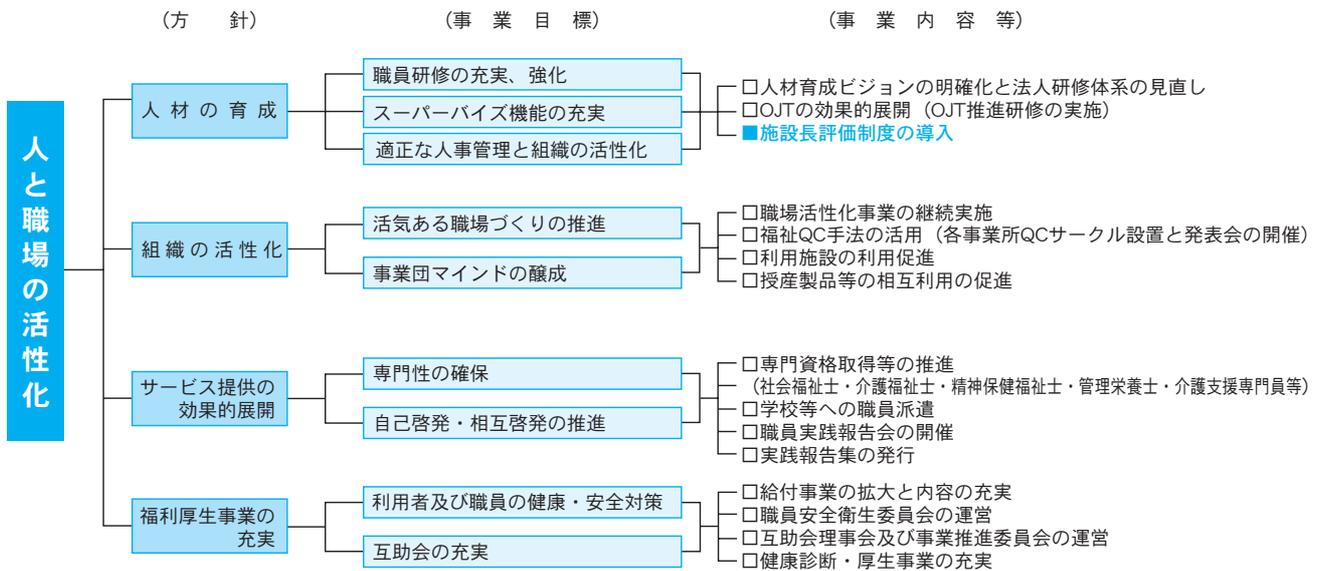
（村山障害者就業・生活支援センター 金田 裕樹）



〇ここがポイント

福祉事業を展開する上で、その中心となる職員の人材育成や能力開発は重要であり、その基本となるものがOJT(職務を通じて行う研修)と考えています。「スーパービジョン研修」「OJT推進研修」では、各施設のスーパーバイザー担当者及び研修担当者を対象に、外部講師を招聘し、ロールプレイを交えた演習中心の研修を実施しています。新任・中堅・ベテラン職員などへのOJTをどのように進めていくのかを学びながら、活力ある職場づくりを目指しています。

Ⅳ 人と職場の活性化 ～マンパワーの育成と職場の活性化をめざして～



2004セミナー等の開催情報 (7月現在)

事業名	開催期日	場 所	問い合わせ先
第4回地域生活支援セミナー inおきたま	9月11日(土)	タスパークホテル (長井市)	置賜障害者就業・生活支援センター (サポートセンター-おきたま) TEL0238-88-5357
第4回自閉症療育者研修 「すずらん塾」	10月23日(土)～24日(日)	山形国際交流プラザ (ビッグウイング) (山形市)	希望が丘しらさぎ寮 (知的障害者更生施設) TEL0238-46-3101
今泉福祉村セミナー	10月24日(日)	泉荘体育館 (長井市)	泉 荘 (救 護 施 設) TEL0238-88-9211
2004地域生活支援セミナー in庄内	10月30日(土)	東北公益文科大学 (酒田市)	吹浦荘障害児者相談支援センター-あおぞら TEL0234-22-9980
第6回梓園福祉セミナー	11月14日(日)	未定 (米沢市)	梓園 (身体障害者更生施設) TEL0238-22-0398
ミュージックケア研修 (総合研修初級コース)	9月4日(土)～18日(土) 毎週土日・全5回	希望が丘 (川西町)	希望が丘地域福祉支援センター TEL0238-42-5158
第6回エリアフリー・フォーラム	11月6日(土)	ウェルサンピア山形 (山形市)	

平成16年度 理事・評議員の紹介

理事



理事長 小野 勝
事業団の未来を拓くよう努めます。



専務理事 佐藤 紀一
この一年、当事業団のあり方が問われるときです。



理事 曾田 統一郎
(県社会福祉協議会会長)
地域福祉の確立に最大限の努力をいたしたい。



理事 浜田 敏
(弁護士)
皆様の常日頃のご努力に對して心から敬意を表します。



理事 松田 澄子
(米沢女子短期大学教授)
いつか収容施設がなくなることが私の夢です。



理事 前川 孝子
(学識経験者)
親としての立場をもって努めて参ります。



理事 鈴木 正弘
(希望が丘所長)
すべての発想を「ユーザーを基本」としたい。



監事 武田 浩一
(県観光物産協会専務理事)
経営健全化のため、皆さんと一緒にがんばってまいります。



監事 歌丸 一夫
(県体育協会専務理事)
福祉社会に少しでも貢献できるように努めます。

評議員



色摩 武愛
(県精神保健親会連合会長)
六月にあやめ鑑賞会がありました。利用者の皆さんと一緒にカラオケをしたり、話し合いをするのがとても楽しく毎年参加しています。



伊藤 繁
(県障害者雇用促進協会事務局長)
自立の「手段」「就業・雇用」の支援に努めます。



齋藤 緑
(酒田市ボランティア連絡協議会事務局長)
新しい時代の福祉を目指しましょう。



菅原 功
(学識経験者)
子は子として、親は親としてそれぞれの立場で幸せを享受できるお手伝いが出来ればと思っています。



橋本 由美
(学識経験者)
たった一度の人生を誰ものが生きられるように...



芳賀 吉則
(学識経験者)
利用者の視点で発言したいと思います。



澤邊みさ子
(東北公益文科大学講師)
利用者の皆さんの生活がより充実したものになるよう微力ながらお手伝いさせていたきたいと思えます。



堀川 秀雄
(利用者代表)
事業団の諸規則や事業計画を学びたい。



土田 ゆり
(利用者代表)
みのりの会の代表として評議員に選ばれました。何もわかりませんが頑張っていきたいと思えます。



白石 恒雄
(希望が丘父兄会連合会)
自分達の手でつくる自分達の福祉サービスが将来の楽しみにしたい生活を祈る毎日です。



田宮 俊幸
(福寿荘長)
利用者の皆さんの幸せを念頭に臨みます。



大築 満夫
(みやま荘長)
連携・ネットワークを重視していきます。



山口 康二
(梓園長)
地域ニーズに添える法人再構築に努めます。

アート作品展のお知らせ

今年も作品展が開催されます。お近くにお出かけの際はぜひお立ち寄りください。

ここから風が...二人展

五十嵐勝美さん

(希望が丘しらさぎ寮)

木口 和子さん

(希望が丘ひめゆり寮)

会場 山寺風雅の国

会期 八月三日(火)〜

九日(月)

夢のまんなか展
(第四回エンジェル・アート)

県内の施設・作業所の方
七人の絵画作品

会場 山形市文翔館

会期 九月三日(金)〜

五日(日)

問い合わせ先 希望が丘地域福祉支援センター TEL0238(42)5158

特別寄稿



地域生活移行のテニスを早めて！

山形県立米沢女子短期大学教授（事業団理事）

松田澄子

現在、私は、梓園のオンブズマンと事業団の理事をしており、こうした依頼があったのは、おそらく私に第三者としての役割を期待されたことだと思えます。そうした点からみると、どれだけお役に立っているか心もとない限りです。

今、私が一番関心を持って見守っているのが、障害者の地域生活への移行の問題です。すでに地域生活を始めた人もいますが、まだまだモデルケースの域を出ていません。このテンポをもっと早める必要があります。北欧では施設解体が進み、スウェーデンでは二〇〇〇年までにすべての大規模施設が姿を消しました。事業団では五百人もの障害者が生活している施設もありますが、これらの人々を地域生活に移行させるには、当然早くからきちんとした計画を立てて遂行していく必要がありますが、事業団ではこの部分がいまだ明確にならなっておりません。

それが望まれます。障害者の問題も老人の問題も、あるいは入所もデイサービスもというように色々なニーズに対応できる施設があることとなく、その地域に住み続けることができるからです。今一つの問題は、他事業者との競争です。利用者に見放されたら、事業者としての存在はあり得ないということになります。独立採算制になる前から、利用者のニーズをつかんだ色々なサービスを他の事業者に先駆けて展開していくことだと思います。

それから指定管理者制度の問題とも絡んで、県内にある多くの事業団の施設をどのように再編するかということも大きな問題となるでしょう。利用者の立場からすると、多機能型の施設が身近にある



利用者の方と

☆レキシコン

構造改革特別区域（特区）制度

民間事業者や地方自治体などの自発的な創意と工夫により、その地域の特性に応じて、法律に基づく規制を緩和するなどの特例を導入する特定の区域（特区）を設置し、民間活力による地域の活性化を図ることを目的に、平成14年6月に経済財政諮問会議において特区制度の導入が決定された。翌7月には内閣に構造改革特区推進本部が設置され、12月「構造改革特別区域法」が公布されている。

一方、同時期に内閣府に設置された総合規制改革会議が、規制改革推進のためのアクションプランを作成、特区の提案募集と併せ全国規模の規制改革要望を募集し、3カ年計画が閣議決定されている。

厚労省関係で特区において実施することとした要項の中で、特に福祉施設に関しては、公設民営方式またはPFI方式による株式会社の特別養護老人ホーム運営への参入の容認、児童福祉施設における調理業務の外部委託の容認、知的障害者通所更生施設における身体障害者の利用の可能化、救護施設の定員要件の引き下げ、身体障害者短期入所事業の実施施設の拡大、施設訓練等支援費の日額単価単位算定の可能化など広範囲にわたっている。

今後、実施状況を踏まえ、評価を経て全国規模で実施されるなど、福祉制度も大きな規制緩和の流れの中にある。地域や利用者ニーズに応えるための規制緩和策と、安易な競争原理導入のための規制緩和は、課題も異なったものとなる。不要な規制と守るべき規制を判断する機軸を何に求めるか福祉哲学が求められる。

レキシコン (lexicon) : ギリシャ語・ラテン語・ヘブライ語の辞典。

作家紹介 (表紙の作品)

奥山 繁雄さん

(みやま荘利用者)

数年前から、「アート」の時間で絵を描き始めました。特に油絵が得意で、その独特なタッチは見るものをほのぼのとさせます。過去「こころのフェスティバル」のパンフレットの挿絵にも選ばれたことがあり、非凡な才能を見せてくれます。

表紙デザイン：広報委員 佐々木久美子

情報板

エリアフリー・フォーラム2004

一障がいの種別をこえた交流集会一

とき：11月6日(土)

場所：ウェルサンピア山形

今年は「旅」がテーマです。やさしい旅・旅とバリアフリーについて夢のあるひとときをいっしょに語り合いませんか！

問い合わせ先：希望が丘地域福祉支援センター

TEL0238(42)5158